

会議録

1 附属機関の名称

犬山市歴史まちづくり協議会

2 開催日時

令和2年2月25日（火） 午後2時から午後3時まで

3 開催場所

犬山市役所 301会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

越澤 明、苅谷勇雅、赤塚次郎、加茂紀和子、中村真咲、柴田浩行、久世高裕、成瀬淳子、
中田哲夫（代理）、間瀬道男、遠藤一雄、山内良祐（代理）、野村吉秋（代理）
寺倉祥真（代理、オブザーバー）

(2) 執行機関

教育長、教育部長、（歴史まちづくり課）中村課長、野村課長補佐、加藤主査補

5 報告事項・議事

報告事項：歴史まちづくり関連事業の経過について

議 題：令和元年度犬山市歴史まちづくり賞について

進行管理・評価シート（案）について

犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）変更（案）について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

1 あいさつ（教育長）

2 会長・副会長の選任

会長に越澤明委員、副会長に苅谷勇雅委員が選任された。

3 報告事項 歴史まちづくり関連事業の経過について

事務局より資料1、1-1、1-2、1-3、歴まち周遊Bookに沿って説明を行った。

【質疑応答】

委員：犬山市歴史まちづくり賞については、今後近代建築にも対象を広げる予定はあるか？

事務局：当面は城下町特有の町屋の建築様式を残した建造物に対象を絞って実施していく予定であるが、将来的には対象を広げることもありうる。協議会からも今後の方法について意見をいただきたい。

4 議題

議題1：令和元年度犬山市歴史まちづくり賞について

事務局より、資料2に沿って説明を行った。

質問事項なし。

議題2：進行管理・評価シート（案）について

事務局より、資料3に沿って説明を行った。

【質疑応答】

委員：東之宮古墳は地層が素晴らしいため、学習システムの開発の際には、その視点も入れてほしい。

委員：文化財保存事業費補助金事業はいくらの補助率で選定はどのように行っているのか。

事務局：補助率は国登録有形文化財等建造物については対象事業費の3分の2で上限は500万円である。選定は犬山市伝統的建造物保存委員会において修理内容及び補助対象範囲の審査を行っている。

委員：景観重要建造物助成事業で、景観重要建造物になっている車山蔵のうち熊野町と魚屋町の蔵には大きく名称が書かれている。これは景観上許されることなのか？指定前からこの状態であったのか？

事務局：熊野町はこの状態で指定を受けている。魚屋町は指定後に現状変更をしている。

委員：観光案内所が建てられた場所は犬山城の麓であり、歴史的にも重要な場所だと思うが、このような場所に新築を建てる場合、しっかりと議論はしたのか？

委員：観光協会の立場からも出来上がりを見て同じことを思った。文化財だけではなく、その周辺との関係性も考慮しないといけない。今回は予算の範囲内ではこれが限界であった。今後は運営の中身で挽回したい。

事務局：福社会館でも同じことが言えるが、しっかりと議論をしながら進めたい。

委員：石上祭には名古屋経済大学からも参加している。調査報告書ができれば、大学の授業でも活用させていただきたい。

委員：城下町バナーワーク事業はいい内容であるから、胸を張って進めてほしい。

委員：屋外広告物の規制は地元の人の理解が必要と思うが、今回はワークショップで意見を集約しながら作成したということであるから期待できる。

委員：ガイドライン策定後の成果はどうなっているか？その後の指導体制はどうか？策定するだけでなく、その後が重要である。

事務局：担当課に確認する。

委員：福祉会館の跡地はどうなるのか？

事務局：史跡の候補地であるため、まずは調査をして、この場所の価値を確認した上で、史跡に追加したいと考えている。その後整備計画を立てる予定である。

委員：城下町の防災については今一度設備の見直しをしてほしい。城下町の消防訓練もやったらどうか。

委員：観光客が安全に回れるような道路づくりをしていけたらよい。

委員：新しい建物が建つことはよいが、防災意識を持ってやってほしい。城下町の消防設備を再検証したほうがよいし、新規参入の人にも呼び掛けたほうがよい。

委員：今の犬山は重伝建のような強い規制がないから非常に浅いまちになってしまっている。規制が必要である。

議題3：犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）変更（案）について

事務局より、資料4、5、6に沿って説明を行った。

【質疑応答】

委員：公衆wifiの活用方法について城下町に浸透していないという現状を市は把握しているか。せっかく整備しても活用されていない。

事務局：担当課に伝達し、対応策を考える。

委員：福祉会館は計画では市単独でやることになっているが？

事務局：現在、来年度の国の補助を申請中であるが、まだ国家予算と申請の結果が確定していないため、確定し次第計画の変更をする予定である。

5 その他

【オブザーバーからのコメント】

この中部圏は犬山市も含めて活発に歴史まちづくりを展開している地域で、特に犬山市は2期計画に入り、ますます頑張ってください。

これまでも様々な取り組みをしてきたが、今後は若い世代にいかん歴史に興味を持ってもらうかという視点も加えていきたい。最近の若年層の間では写真を上手に加工するなどして、いかに感傷的な写真を撮るかということが流行っている。そういう意味でも歴史という分野は若年層に受け入れやすいのではないかと思われる。

また、愛知県の津島市が今年度中に認定を受ける予定で、愛知県では4市が認定を受けることになるため、ますます盛り上げて行っていただきたい。